



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006～2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創 立: 1980年(昭和55年)1月10日
会 長: 遠山 堯郎
幹 事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例 会 日: 毎週木曜日 PM12:30～
会 場: ヒルトン名古屋
事 務 局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ビルトン名古屋910号
T E L: 052-211-3803
F A X: 052-211-2623
M A I L: 2760nagoya@mizuho-rc.jp
U R L: http://www.mizuho-rc.jp/

第1282回例会

2006年7月27日(木) 晴 第4回

司 会: (渡辺喜代彦会場副委員長)
齊 唱: 「日も風も星も」
ゲストスピーカー: 花水木工房施設長 中尾 譲二氏
ビ ジ タ ー: 瀬戸RC 澤田 賢成君 他2名

会長挨拶

遠山堯郎会長

最近、郵送されてくる各種のアンケートに、愛読書や趣味と並んで「座右の銘」の欄が設けられていることがあります。また、選挙の際には、新聞で党首や候補者の欄に「座右の銘」が記されていることも珍しくありません。ちなみに、小泉首相の「座右の銘」は【信無くば立たず】これは「論語」の句のようです。



「座右の銘」の元祖は、後漢(950年頃)の崔援(さいえん)の「座右の銘」だそうです。20句100字からなっていて「文選」(活字)に収められました。つまり「座右の銘」は作品のタイトルだったそうです。崔援(さいえん)「座右の銘」の始まりは、「人の短を道(い)う無かれ、己の長を説く無かれ」つまり「人の短所をあげつらうな、自分の長所を自慢するな、確かに良い言葉です。弘法大師空海が草書でこの二句を書いた「座右の銘」の断簡(きれぎれになった書きもの)が、いま高野山に伝わっているそうです。

最近、偶然にも、親しくして頂いています東海テレビの佐藤卓男専務から、ご本人の父親の座右の銘をテレホンカードにしたものを頂きました。本人自筆の「閑談彼短(ぼうたんひたん)」でした＝彼の短所を談ずるなかれ＝つまりその場にいる人の短所(悪口)を言っはならない、短所を指摘するなら面と向って言いなさい!と言うことだそうです。崔援(さいえん)の座右の銘に似た処があります。その他には「報恩感謝」「吾唯知足」(吾ただ足るを知る)が座右の銘だったそうです。そのほか、良く聞く座右の銘に「人に施しては慎んで念(おも)うなかれ、施しを受けては慎んで忘るるなかれ」があります。自分のやる気を鼓舞するような「座右の銘」も悪くないですが、心がキューと引きしめる古人の言葉は、学校でも社会でも教えるべきだと思います。私の座右の銘「一身独立」です。好きな言葉は「真剣だと知恵がでる・中途半端だと愚痴がでる・いいかげんだと言い訳ばかり」です。

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日例会終了後、13時35分より第1回クラブ奉仕協議会が4階「藤の間」にて開かれます。
- ・次週8月3日(木)は第2回理事会ならびに第2回クラブアッセンブリーが13時35分より4階「梅の間」にて開かれます。
- ・事務局員の辻さんが8月いっぱい退職されます。後任を募集していますので、どなたかご推薦下さい。

出席報告

宮崎次次出席委員

会員72名 出席57名 (出席計算人数53名)

出席率84.91%

7月20日は補填により 86.79%

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西		8/17(木)※	8/24(木)	
名古屋南		8/16(水)※		
名古屋東		8/14(月)※		
名古屋守山	8/9(水)※	8/16(水)※	8/23(水)	
名古屋みなと	8/11(金)※		8/25(金)	
名古屋東南		8/16(水)※	8/23(水)	
名古屋中		8/14(月)※		
名古屋和合		8/16(水)※		
名古屋名東		8/15(火)※		
名古屋名北		8/16(水)※	8/23(水)	
名古屋千種	8/8(火)	8/15(火)※		
名古屋大須	8/10(木)	8/17(木)※		9/7(木)※
名古屋栄	8/7(月)◆	8/14(月)※		
名古屋名南		8/15(火)※		
名古屋名駅		8/16(水)※		
名古屋昭和	8/7(月)	8/14(月)※		9/4(月)
名古屋西南	8/10(木)※		8/24(木)	
名古屋錦		8/15(火)※		9/5(火)
名古屋東山		8/17(木)※		
名古屋空港		8/14(月)※		
名古屋清須		8/15(火)※		
尾張中央		8/16(水)※		
豊山一城北		8/15(火)※		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。

◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。

ニコボックス

宮崎次次ニコボックス委員

- ・名古屋瑞穂RCの皆様、本日は「精神障害者が地域で暮らしていくために」演題にてお世話になります。

瀬戸RC 青山 稔君 澤田 賢成君

- ・数日後に還暦を迎え、複雑な気持ちです。 田中 隆義君
- ・7月15日は家内の誕生日でした。 吉木 洋二君
- ・7月28日は妻の誕生日です。美しい花を期待しています。

平野哲始郎君

- ・家内の〇才の誕生日にお花をいただき、喜んでおりました。

松井 善則君

- ・会員の皆様、暑中見舞い申し上げます。 嶺木 一夫君
- ・大川さんと目が合いました。 野崎 洋二君
- ・今日は第一回長期ビジョン委員会、有難うございました。皆様のご協力をお願いします。 遠山 堯郎君

- ・大川さんと目が合いましたので。暑くなりましたので、夏バテに気を付けましょう。稲葉 徹君
- ・本日7月27日より、長期ビジョン委員会がスタートしました。大島 浩嗣君
- ・大川さんご苦労様です。渡辺喜代彦君
- ・元気な大川さんを見て。田中 政雄君 長瀬憲八郎君
- ・よろしく 山田 鎮浩君
- ・大川さんにお会いして。堀 慎治君
- ・今期ニコボックス担当です。ニコボックスをよろしく。大川 嘉成君
- ・梅雨が明けましたね。岩本 成郎君

委員会・同好会報告

社会奉仕委員会：田口豊委員長

本年は市内23RCの社会奉仕委員長会議の幹事になっております。年間の支援事業というものが、300万円ほどの予算で支援を致します。継続事業として、スペシャルオリンピックスという団体に年間200万円の支援を致しております。これは4～5年継続事業という事が決まっております。それ以外に新しく事業提案を瑞穂RCからする必要がございます。第1回会議が8月31日に行われますが、どういった事業を支援するかという事業候補を集めて検討を始めております。ぜひ当クラブの皆様方の中でそういった社会奉仕にかなった事業あるいは団体をご存じの方はご提案頂きたいと思っております。本日メールボックスの中に提案用紙を入れてありますので、8月4日(金)までに事務局へFAXでお送りいただければ有難く思います。

ゴルフ同好会：堀 慎治君

前回も申しましたが、8月29、30日に親睦ゴルフ会を催します。ピジター也大歓迎ですので、ご親族の方お誘い合わせの上ご参加下さい。10月に4RC合同のゴルフコンペがございます。最下位に甘んじておりますので、今年こそは優勝をと思っております。ぜひとも皆様ご参加下さい。10月20日(金)三好カントリークラブにて9時30分スタートです。

地区情報

天野正明幹事

財団学友委員会：増田盛英委員

7月7日地区R財団委員会合同委員会に出席致しました。

前年度RAC委員長：遠山堯郎君
R A C 委 員 会：高須洋志委員

7月9日第1回RAC会長・幹事会に出席致しました。

高村博三君へ叙勲祝賀会記念アルバム贈呈

去る6月23日(金)ヒルトンホテルにて催された瑞穂RC有志による高村さん叙勲旭日双光章受章を祝う会の写真を記念アルバムとして、高村君へ贈呈致しました。



卓話

花水木工房施設長 中尾譲二氏

「精神障害者が地域で暮らしていくために」

はじめまして、こんにちは。まずはじめに、心の病気というのは、大まかにアルコール依存症・自律神経失調症・心身症・神経症・精神病に分類することができます。このような5つの疾患が慢性化して、長期にわたって日常生活または社会生活に相当な制限が生じ、社会的支援や福祉の援助が必要な状態を一般的に精神障害と呼んでいます。年々、精神障害の方は増えていますが、病院数は減っています。その背景としましては、医療費の負担がとて大きくなり、国の方針として病総数を減らそうという動きが活発化したためです。そこで受け皿を作ろうということで、任意の民間団体が精神障



害者小規模作業所というものを立ち上げたのです。小規模作業所というのは、法定外施設ではありますが、国庫補助金や県や市町村からなる運営費補助金によって運営されています。

実際の作業所はどういう所か、私ども花水木工房の紹介とお話していきたいと思ひます。私どもは焼き物の町・瀬戸市ということもありますので、陶芸製品をメインに作っています。陶芸家の2人の先生の指導の元、本格的に取り組んでいます。他にも押し花製品を作製しています。また、自主製品の販売だけではなく、リサイクルなどのバザーや、家族の方、県民の方にはたくさん品物をいただいてリサイクルを行っています。また、月1回工房内でミニ喫茶を行い、活動資金を集めています。最近ではようやく地域の方々にも浸透し、訪ねてきてくれるようになっていひます。他にも、ボランティアの方々の協力で月に3回食事作りを行っています。ですが精神の分野はまだまだ他の障害と比べるとボランティアに来ていただけるのが少ないのが現状です。

次に作業所の問題点についてお話しします。現在、私どもの工房では多いときには15人の利用者がいますが、場所がとても狭く、作業するスペースがとれません。また、資金の問題もあり、新しい施設を買うということがむずかしく、手間のかかる作業を行っています。工賃は、先ほどご紹介しました自主製品の売上げから、材料費を引いた金額をみなさんに分配しておりますが、昨年度の工賃は、一月平均で2,000円程しかお支払いしておりません。現在この工賃だけではとても辛いということで、1日400円、通所手当というお金を別途支給しているのですが、この400円も経済的理由等で減額せざるをえない現状になっています。先ほども少しお話をしたのですが、作業所の運営というのは、補助金から成り立っているのですが、年々10～20万ずつ減額されており、その分お金が他から入ってくるところがありませんから、厳しい運営状況になっています。また、消費者の目も厳しくなっており、福祉だからといって買う時代ではなくなっています。自主製品の販売自体も伸び悩んでいます。また、アフターケアの問題で、この作業所を卒業して次に行く場所がないのです。

次に社会の偏見という点です。これは未だに根深いものがあります。しかし、多くの患者はきちんと治療を受けて、服薬を継続していると逆にむしろ物静かで、非常に繊細な人が多いのです。それが何をするかわからない存在という感じに思われしうのは、最近の不幸な事件や、報道で通院歴や精神障害といった言葉が一人歩きしているためです。実際司法統計によりますと、刑法犯として検挙された精神障害の7割の方は、1度も通院歴がなかったり、また通院歴はあっても長い間通院を止めている方々です。

今後のことですが、今後は地域で障害者を受け入れて、地域の方々と共に生きていく時代になっていくと思ひます。今日ここにお集まりのロータリークラブの方々も、地域のニーズに合った活動を模索していると聞いておりますので、ぜひとも障害者の方々にもスポットを当てていただいて、地域の中で障害者がごく普通の生活ができるように、就労場所やイベント等の提供などお願いいたします。就労については精神障害を抱えた人たちも一般の人と同じように働きたいと切に願っています。実際に人とのコミュニケーションが苦手だったり、集中力が持続しないといった問題点はあるのですが、何人かのグループの作業であるとか、短い時間でしたら十分に働けます。また、自主製品ですが、市民祭や福祉祭りといったイベント等で片隅にでもスペースを作っていたら、少しでも販売網を拡大していただけると助かりますのでよろしくお願ひいたします。あと、PRですが、地域の方々に精神障害者の現状について理解していただけるような機会がほとんどありません。地域の方々にPRできるようなイベント等をご提供していただけたら助かりますので、よろしくお願ひいたします。

今週卓話

8月3日(木)

卓話講師：名古屋テレビ塔株式会社 取締役社長 大澤和宏氏
テーマ：「名古屋テレビ塔の挑戦」

次週行事

8月10日(木)

親睦例会：18:00より
於：名古屋テレビ塔 4階「タワーレストラン」